

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 1 9 号
2 0 1 4 年 1 1 月 5 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 田中 守 殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

「品川駅ホーム柵の鍵の不良とセキュリティ」に関する申し入れ

品川駅ホーム大阪方の柵に鎖とダイヤル式鍵が設置されているが薄暗い明かりの下で見にくく、さらに鍵自体が硬くて回しにくく解錠しにくい状態となっている。点呼時間も気になり焦るとさらに解錠に手間取る事態に陥ってる乗務員がたくさんいる。

そしてその柵は、大人の腰ほどの高さしかなく、安全柵のようにも見えるがけしてセキュリティ上、万全な高さであるとは言い切れない。このような状態を放置すれば乗務員の到着・出場遅延やセキュリティ上の問題が発生することが予想されるために早急に設備の改良が必要である。

よって、下記の通り申し入れるので早急に労使協議の場を設定すること

記

1. 品川駅大阪方（上下線共）の柵にダイヤル式の鍵が設置させているが、劣化により数字が見にくくなっている。さらに風雨にさらされ鍵自体が硬くて回しにくく解錠しにくい状態となっている。大阪方の柵の鍵をプッシュ式の鍵に変えるなど改善すること。
2. 現在、上記ダイヤル式鍵の暗証番号が、業務用携帯電話による番号と異なっていることが乗務員に周知されていなかった。至急、関係社員に周知を図ること。
3. 現在、名古屋駅下りホーム下降り口、新大阪駅25、26番線大阪方ホーム下降り口に、品川駅大阪方柵と同様にダイヤル式鍵が設置されているが、それぞれ様式が異なり扱いにくくなっている。鍵の様式を統一すること。
4. 各所の現物の鍵のサンプルを各運輸所に置き、解錠、鎖錠の訓練ができるような設備を設置すること。
5. 品川駅ホーム大阪、東京方柵、名古屋駅下りホーム降り口の柵は大人の腰ほどの高さしかなく乗り越えが容易な状態であり、セキュリティ上問題である。至急、乗り越えが出来ないような万全の対策を図ること。

以上